

2011年(平成23年)10月28日(金曜日)

人

木製の工事用看板を製造・販売している「ゼストシステム」(東神楽町)の社長。旭川市内の建設業者などが参加する植樹会を毎年開いている。規模、参加者とも年々拡大し続けており、「参加者はホームページで呼び



ふみき
安井 文期さん(56)
旭川市

掛けているだけだが、環境や循環型社会に関心を持つ人が増えていく証拠では」と話す。自社の所有地30畝にこれまでもととは印刷物デザイン本を植樹した。「二酸化炭素などを手がける会社だったを吸収し、その後商品となる。が、取引先から「余った木材 これからも循環型社会を進めるの活用法を」と頼まれたのを「ていきたい」と力を込めていきつかけに、「木製工事用看る。」(五十嵐知彦)

植樹と余材活用で循環型社会を